

# わいほの 灯台、日本一!

## 高さ日本一!

灯台の構造は、二重に積まれたレンガ造りの  
高さは約33m。レンガ造りの灯台の中では、  
日本で一番高い灯台です。

## 青森で唯一!

全国3,096基ある灯台のうち、内部を見学  
できる参観灯台はわずか16基。

16基のうち、尻屋崎灯台は青森県唯一!

128段のらせん階段を登って絶景を一望!

※全国3,096基は海上保安庁が管理する灯台の数

## 日本で唯一!

明治16年10月24日、みぞれの降る夜、  
灯台の北側レンズに隕石が衝突しました。  
隕石落下の記録が残る灯台は尻屋崎だけ。

## ココにある!

尻屋崎灯台は、  
本州最北東端に位置。  
本州のはいっこ!



## わいほの灯台、日本一!

尻屋地区で「尻屋の魅力は何ですか」と尋ねた。「自然」「水産資源」「魅力は分らないけど、やっぱり尻屋が好き」——そんな声が返ってきた。しかしながら「尻屋の魅力は尻屋崎灯台」との声は聞こえてこない。それは、灯台が長い間、この地の暮らしに溶け込み、あまりにも身近で、当たり前前の光景になっているからだ、地区の人たちは微笑む。

しかし、尻屋崎灯台には、日本一や日本初、ここにしかない数々の記録がある。そして、150年にわたり、人々の暮らしと海を見守り続けてきた歴史がある。その価値を地域の人と全国へ発信し、灯台を地域資源として未来へ受け継ぐことを目的に、灯台ワールドサミットin東通実行委員会主催による「灯台ワールドサミットin東通」が7月11・12日の2日間、開催された。このサミットは、灯台の文化的・歴史的価値や観光資源としての可能性を見つめ直し、地域活性化と未来への継承を考える全国規模の取り組みである。

今月の特集では、節目を迎えた「わいほの灯台」の歩みと価値をあらためて見つめ直し、灯台サミットテーマである『灯台2.0「灯台が人と地域を導く時代へ」の姿とともに、次の世代へ受け継いでいく地域の誇りを伝える。